

令和3年度 第2回 春光台・鷹の巣まちづくり推進協議会 会議録

会議概要	
日 時	令和3年12月8日(水曜日)午後6時30分から午後7時50分まで
場 所	旭川市春光台公民館講座室
出席者	委員(12名, 50音順) 池田委員, 伊林委員, 上森委員, 大久保委員, 小原委員, 菊池委員 竹内委員, 玉井委員, 早坂委員, 水野委員, 宮上委員, 横山委員 (欠席者: 杉本委員, 高橋委員, 山本委員) 事務局 春光台公民館: 日比野館長, 藤村専門指導員, 高橋事務 旭川市地域まちづくり課: 今課長, 大西課長補佐, 吉岡
会議の公開 ・非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第
	資料1: 春光台・鷹の巣まちづくり推進プログラム

議 事 の 内 容

1 次年度の事業の方向性について

【事務局】

- 下記の3事業については, 第1回推進協議会の中で, 今年度の可否についてご協議いただき, 今年度の実施については, コロナ禍の中で安心・安全を確保することが難しい状況にあることから, 中止及び休止の措置をとるということになったが, 次年度の対応について, 委員の皆様のご意見をお伺いしたい。

(ア) 子ども支援事業

【委 員】

- 今までの学習支援とは別の方法で, 子どもたちと接する機会を作ることができないだろうか。そのためには, 各学校の意向を聞きながら, 地域として何ができるかを検討し, 連携を図っていくことが必要である。
- 今までの各学校に対する学習支援では, 何らかの形で子どもたちと間に良いコミュニケーションを図ることができたので, 今後は学習支援にこだわることなく, 子どもたちと触れ合う機会を継続して行けたらよいと思う。
- 今までの活動は, それなりの意義があったが, 今は子どもと接するという行為がネックになっている。
- 何らかの方法を工夫して活動するためには, 感染リスクをどう下げていくかということとその時の感染状況が課題になる。
- 小学校では, 図書館の開放が十分にできていないので, 地域の方に協力をいただいて, 放課後などに図書館を開放することができたらありがたいと考えている。
- 活動するためには, ワクチンの接種証明や陰性証明などの条件が満たされていければならないのではないかと思います。
- 学習支援以外にも学校に対して協力できることがあると思うので, 検討してみてもどうか。

(イ) 高台通学合宿事業

【委員】

- 3事業の中では一番密になる事業なので、ワクチンの接種や陰性の証明などについての確認がどうしても必要になる事業ではないか。
- 今のコロナ禍では、色々な問題が生じてくるように思う。
- ソーシャルディスタンスをどう保ちながら行うかが課題となるので、参加人数を減らすなどの対応が必要だが、新型コロナウイルス感染症の状況が、今後どうなるかが問題である。
- 会場となっている公民館は、宿泊設備が乏しく、洗面所やトイレなどの問題があり、就寝時に子どもたちを管理をする人材も不足しているなどの課題がある。
- 先日、春光台中学校で行われた未来推進会議において、以前にこの事業にボランティアとして参加してくれた大学生に会う機会があり、大変楽しい事業で、また参加したいとの話がありました。また、私たち実行委員の間でも、この事業が長く継続され、参加した子どもたちが、この事業にボランティアとして帰ってきてくれたらすばらしいとの話をしていた。
- 施設の設備や実行委員の負担などを考慮した上で、この事業については、今後検討していかなければならない。

(ウ) 多世代ふれあい交流会開催事業

- 3事業については、人と人とのつながりを深めるための事業なので、どうしても密接になることが避けられない。
- 会場と参加人数の関係で、今の状況での実施は難しいと思うが、来年の9月から10月までには状況が変わってくるかも知れないので、準備を進めながら状況を見ていくことがいいのではないかと考える。
- 老人会の活動もコロナの影響で衰退してきているように思う。
- たかのす笑話会の活動は、10月から再開している。
- 老人会の活動が衰退してきていることについて、まちづくり推進協議会としても考えていかなければならない。

(エ) コロナ禍における新規事業

- ある程度の規模で事業を実施するのであれば、屋外で実施できるものを考えてはどうか。
- 今の世論の中で、ワクチンを接種していない人や接種できない人への対応が難しい。
- 換気や気温などの心配がない時期に屋外で実施できるものを検討したらよい。
- 次年度になれば、市民委員会が中心となって行ってきた「雪あかり」の活動などではできないのではないと思う。
- 広い空間を確保することで、実施できることがあるのではないか。
- 春光台・鷹の巣地域のウォーキングマップを利用して、みんなでウォーキングを行う事業を計画してはどうか。
- 平成26年にまちづくり推進協議会で編集をした「地域の防災心得」を現在の状況に合ったものに改訂してはどうか。また、作成に当たっては、避難要支援者への対応についても具体的に盛り込んでいく必要がある。
- 地域の安心・安全に関する部分を充実させていく必要がある。

(オ) 「道ありき」春光台における足跡「坂」の名称命名事業

- 「道ありき」春光台における足跡「坂」の名称命名事業については、石碑の維持・管理と春光台公園の利用のあり方に関する課題が残されているが、このことについては、春光台文学の小径友の会が事業を引き継いでいく。
- 「道ありき」春光台における足跡「坂」の名称命名事業の実行委員会については、3月の末日をもって解散する。
- 石碑の維持・管理に関しては、3年毎に石碑の設置認可を受けるための申請を出さなければならぬことと賠償保険に加入しなければならない。
- 春光台公園のあり方については、市議会の中でも議論がされ、旭川市全体の公園について、効果的な利用が促されるよう、そのための協議会を設置したいとの回答があった。また、公園の特性などを踏まえ、学識経験者、観光や商工関係者、自治会、愛護会など、公園を利用している住民団体などで構成した体制づくりを進め、魅力ある公園づくりに努めていきたいとのお話があった。

2 その他

(ア) 春光台・鷹の巣まちづくり推進プログラムの見直しについて

【事務局：地域まちづくり課】

- まちづくり推進プログラムについては、地域の課題把握とその解決に向けて、地域と旭川市が情報共有することを目的に作成されている。
- まちづくり推進プログラムについては、旭川市から支出されている補助金の根拠にもなっている。
- 春光台・鷹の巣まちづくり推進プログラムの見直しについて、委員の皆様のご意見を伺いたいので、記載内容について検討いただき、12月24日(金)までに地域まちづくり課へ、見直しに係る調査票を提出していただきたい。